グループ名	ユニット名等	科　目　名	担当教員名	対象学年次	学期
自己発見	２単位 地域を知る	行政学	堀田　学	１年次	秋

授業のキーワード	行政、地方自治、ガバナンス
授業の概要	現代社会は、行政の比重が多く、「行政国家」といわれることがあります。また、近年盛んなガバナンスの議論では行政は住民とのパートナーとして考えられています。この授業では行政について考えていきます。
期待される学習成果（目標）	１．新聞・ニュース等で取り上げる時事問題が理解できる。 ２．政治学と現代地方自治を合わせて履修するとさらなる理解が深まる。 ３．公務員の仕事をイメージできる。

授 業 展 開

	テーマ	内　容		テーマ	内　容
第1講	行政とは何か、ガバナンスとは何か	授業のオリエンテーションと「行政」・「行政学」についての説明をします。	第9講	官僚制②	官僚組織の作動様式について学びます。
第2講	行政サービスの範囲	行政サービスの発展について説明します。	第10講	日本の中央省庁の意思決定方式	日本の中央省庁の意思決定方式について学びます。
第3講	官僚制と民主制	官僚制と民主制について学びます。	第11講	予算編成と会計検査	予算編成と会計検査について学びます。
第4講	アメリカ行政学の展開	アメリカ行政学について学びます。	第12講	行政活動の能率	行政活動を能率的にするにはどうしたらよいかを考えます。
第5講	日本における行政学	日本における行政学の発展について学びます。	第13講	行政改革	1980 年代からの日本の行政改革を歴史的に見ていきます。
第6講	議院内閣制と省庁制	日本の省庁制について考えます。	第14講	行政統制と行政責任	行政責任について考えます。
第7講	公務員制度	日本の公務員制度について学びます。	第15講	日本の行政の展望	人口減少、財政赤字のなかでの行政について展望します。
第8講	官僚制①	ウェーバーの官僚制論について学びます。	定 期 試 験		重要用語の理解、ならびに各講で取り上げた内容から出題します（記述も含む）。
評価方法	定期試験（１００％）で評価します。 定期試験の受験資格として３分の２以上の出席が必要なので出席は毎回取ります。				

使用する教科書（必ず購入してください）	参　考　文　献
西尾勝『行政学（新版）』有斐閣、2001 年	曽我謙悟『行政学』有斐閣、2013 年 真渕勝『行政学』有斐閣、2009 年 外山公美編『行政学』弘文堂、2011 年